



プロジェクト 参加者の声

「子ども農トレ」 参加

古賀 裕也さん

森づくりをする中で隣近所や友人も増えて地域活動の参加につながり、お金や短期的な数値では測れない価値が生まれました。「自分たちのことは自分たちで担う!」という市民の決意の集まりで地域を守っていくしか、もう道は残されていません。

「安武ほんによかね」 3ヶ月ママチャレンジ 参加

川副 清美さん

回を重ねる毎に子育ての悩みも口に出せて、皆さんに会えるのが楽しみに。任せだった今までの自分を変えたい。

「輪をつくろう」 参加

中村 美香さん

今回のつながりをきっかけに津福小学校の特別支援学級の親の会「津麦の会」を立ち上げることができました。親として相談できる場所ができたことが嬉しい。卒業しても末永くつながっていきたい。

2018年度も、 厚生労働省のモデル事業に 取り組みます!

久留米10万人女子会「WeLAB46」事業、
「世代力発電のまち みやの人」事業…。
聞いただけでワクワクしませんか?
異文化や異世代を混ぜ合わせた
8つのプロジェクトによって、
社会的事業・活動を新たに創り出し、
普及させるためのプラットフォームのあり方を
研究・実践・検証していきます。

子ども農トレ【山本小校区】

- ①自然の中で親子が遊びを学ぶ機会づくり
- ②久留米天使子ども園・オヤジの会・山本小校区住民
- ③オヤジの会と地域住民、子どもが参加し、遊び場となる耕作放棄地を整備。

みんなが担い手【諫訪中校区】

- ①地域の若手の人材発掘
- ②諫訪中校区住民(大人・子ども)・visonAreal
- ③校区内の子どもが校区出身の大人に「担い手」についてインタビュー
ホームページ(みんなが「271te」プロジェクト)制作・掲載

地域の担い手づくり【全校区】

- ①コミュニティづくりに必要な技法を学ぶ研修の実施
- ②コミュニティ・オーガナイズ久留米・久留米市障害者基幹相談支援センター・住民
- ③コミュニティ・オーガナイザー養成研修の開催

もうひとつの家【安武・御井小校区】

- ①福祉の専門家ではないボランティアと重度障がい者との生活共存
- ②ポレポレ俱楽部(当法人の後援会)・障がい当事者・ボランティア(大人・子ども)
- ③地域ボランティアによる障がい者の土日里親制度の実施

詳しくは [社会福祉法人拓く 2017年度厚生労働省モデル事業](#) 検索